

令和4年度

年間授業計画

都立板橋高校

教科・科目	国語・古典B	2単位	対象学年・組	3年必修選択B枠
教科書 ・副教材等	高等学校 標準 古典B (第一学習社) 体系古典文法、体系古典文法学習ノート、古文単語315、古文上達基礎編読解と演習45	教科 担当者	国語科 齋藤 勝	

目 標	一学期	・ 考查ごとに、語彙力・文法の学力の伸長を確認する。 ・ 2年次までの文法事項の復習をし、再度定着を図る。 ・ 問題演習を行い、基礎学力を確認し、応用力を養う。
	二学期	・ 古文問題演習を行い、総合力の伸長と充実を図る。
	三学期	・ 古文問題演習を行い、総合力の伸長と充実を図る。

学期	月	単元	時間	学習内容
一学期	4月	随筆	24h	・ 文法事項の復習(仮名遣い・活用語) ・ 入試問題演習
	5月	随筆 問題演習		・ 文法事項の復習(活用語) ・ 入試問題演習
	6月	問題演習		・ 入試問題演習
	7月	問題演習		・ 入試問題演習
二学期	9月	問題演習	28h	・ 入試問題演習
	10月	問題演習		・ 入試問題演習
	11月	問題演習		・ 入試問題演習
	12月	問題演習		・ 入試問題演習
三学期	1月	学年のまとめ	18h	学年のまとめ
	2月	学年のまとめ		学年のまとめ
	3月	学年のまとめ		学年のまとめ

評価の観点 ・方法	<p>【観点】①歴史的仮名遣いに注意して音読することができたか。②古語辞典や注釈を活用して、大まかな内容をつかむことができたか。③品詞に注意して、現代語訳ができたか。④古典文法(品詞・動詞・形容詞・形容動詞・助動詞・助詞)を理解することができたか。⑤重要古文単語を覚えることができたか。⑥人物・情景・心情などを的確に捉え、自己の感想・意見を表現することができたか。⑦古典の世界と現代を比較して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができたか。⑧語彙を豊かにするとともに、表現上の特色を捉えることができたか。【方法】定期テスト・小テスト・提出物(宿題・ワークシート)・口頭課題・授業態度などを総合的に評価する。</p>
--------------	--
